

平成31年新春

お地藏様の寺

光照寺だより

～生きつくす～

「…つくす」と言うときどんな言葉を思い浮かべますか。

「食べ尽くす」。作物や食べ物をきれいさっぱり全部たべてしまうさまです。出された料理を全部平らげてくれると作った方は嬉しいものです。「語りつくす」。いろんな思い出話を余すところなく話さるさまです。友人との夜を徹しての話は友情をさらに深くしてくれます。全部、残さず、きれいさっぱり、余すところなく・・・そんな感じです。

先日、98歳のご老婦人の葬儀に参りました。喪主さんのお話では、このおばあさんはずっと元気で過ごされておりましたが、一週間ほど前から食事ができなくなり、口からもが入らなくなりました。しかし、苦しむこともなく痛がる様子でもなく、すー、すーと静かに呼吸されていましたが、その呼吸もだんだん弱くなり、やがてロウソクの灯が消える如くすーと息が無くなりました。

老衰ということですがこれこそ大往生でした。息子さんである喪主さんは安心して見届けることができたとおっしゃっていました。

まさに「生きつくした」終いだったようです。お釈迦様からお借りしたこの命を、98年間にわたって生きつくされました。お釈迦さまもご満足であろうと思います。

「生きつくす」ことはなかなかできるものではありません。病気や事故、災害等で「生きつくす」ことができずに亡くなる方がほとんどのご時世です。自分だけがそう願っても叶えられないことが多いようです。また、「生きつくす」には支えとなってくれるご家族や施設の方々の献身がなくてはなりません。

私は自分の人生を「生きつくす」ことができるかわかりませんが、せめて今日一日の命を生きつくしたいと思います。

(方丈) 光照寺 HP より

東堂様遷化

昨年1月18日に東堂様(当寺22世春岳碩栄大和尚 俗名:菊池碩栄)が遷化されました。世寿90歳でした。本葬は4月9日に行い、導師は雲居寺方丈様、智徳寺方丈様、庄川寺東堂様にお勤めいただきました。大勢の方々からご丁重なる御香資を頂戴しました。ありがとうございました。また、一周忌法要は11月4日に執り行いました。



智玄さんが第一座を無事につとめました。

5月27日、三条市新谷の長見寺様の晋山結制法要において、大衆の第一座である首座(しゅそ)の大役を見事につとめました。禅問答では励声にて問者を喝破しました。

ご家庭に不要のロウソク・線香がありましたら、お寺に寄付していただだけませんか。四月の地藏講速夜の万灯供養に使わせていただきます。